学校評価公表シート2022

聖ミカエル幼稚園

1. 園の教育目標

明るく、正しく、元気の良い光の子どもになりましょう。

・ぼくは、わたしは、愛されている
子ども達一人ひとりが、神様と周りの大人たちに愛されている安心感の中で、毎日明るくほがらかに過ごしてほしいと願っています。
・心も体もたくましく
春夏秋冬の外遊びを通して自然やお友達と関わり、心も体もたくましい子に育ってほしいと願っています。
・優しい気持ち、正しい心
キリスト教保育を通して、お友達や小さな命に対する優しい気持ちや善悪の判断がつく子どもに育ってほしいと願っています。
・豊かな感性、のびやかな想像力
毎日の絵本や紙芝居の読み聞かせ、お絵かきや粘土遊びなどを通して豊かでのびやかな心を育んでほしいと願っています。

2. 本年度に定めた重点的に取り組む目標や計画

・安全対策の徹底
・職員のつながりを大切にする
・地域との連携

3. 評価項目の達成および取り組み状況

評価項目	取り組み状況
園の教育課程は、幼稚園教育要領の精神を踏まえ、園の教育理念・教育目標を基に編成している。	新幼稚園教育要領を踏まえ、年間を通した保育の見通しを全職員が持ち、保護者へも毎月周知するようにしている。
幼児の発達に即して幼児期にふさわしい生活を展開できるように具体的に指導計画を作成している。	各担任は、月の計画、週の計画、日々の具体的な計画のもとに保育をしている。また、日々の保育日誌は計画を立てる上で幼児の個々の発達の状況がよくわかる重要なベースとなっている。
安全で清潔感のある環境構成をしている	コロナウイルス感染防止の対策として、ご家庭へ検温・健康観察の報告をお願いし、外部の方が園舎内に入るときには、検温、手洗い、消毒をお願いした。園児、職員へ不織布マスクの着用をお願いしている。また、安全対策に関しては、新園舎となり「SECOM」が入ったことにより、ドアの施錠が徹底され、安心が増した。隣の教会、旧園舎に泥棒が入ることがあったが、新園舎は「SECOM」のシールが張ってあったため、泥棒も入らなかったという話を聞き、安心した。
幼児い一人ひとりのありのままの姿を受け入れ、その子の良さを認めるよう心掛けている。	保育前、保育後にお祈りと打ち合わせを行い、全職員が園児全員の様子を把握し、確認をする時間を設けている。詳しい内容は保育日誌に記録され、全職員が閲覧できるようにしている。また、特別支援教育では、特別支援コーディネーターを配置し、担任、保護者、他機関との連携を行った。
保護者に対し、幼児や自分の保育のことを分かりやすく話、保護者との信頼関係を築くよう努めている。	懇談会、送り迎えの時間にお子さんの様子を伝えるよう努めている。また、ホームページの保護者のみログインできるコーナーで行事などの写真をアップした。園長も、保護者の皆様にお会いしたときは、積極的に声をかけ、担任と保護者の懸け橋になるよう努めた。ただ、昨年度に引き続き、今年は茶話会の中止、行事の参観の制限が設けられ、例年よりも直接にお話しする時間が減ってしまった。その中でも、保護者の皆様にご協力とご理解をいただき、感謝している。
地域社会とのかかわりを持つよう努める。	例年ならバザー、花の日礼拝や収穫感謝礼拝でのご近所訪問、大友敬愛園訪問等、様々な場面で地域の方々との交流を持っているのだが、昨年度にひきつづき、今年度はどれも中止となった。
保育者としての専門性を高めるための各研修会に積極的に参加する。	積極的に研修に参加し、日々の保育に生かしてきた。学んだことを共有化できるよう、園内研修にも取り組んだ。また、今年度はベネッセの保育全般にわたる研修を各自で見て、記録を園長に提出する、という形を取ったが、どの職員もまじめに研修を受けていた。また、特別支援教育の学びとして、聖公会北海道教区幼稚園保育園の先生方とZoomによる学習会を定期的に行い、心を尽くして子どもたちの保育に当たれるよう、準備した。今年度の他の外部研修も対面ではなく、ZOOM等で参加した。
人事管理、財務管理を適正に行う。	公認会計士により、適正に運営されていると認められている。

4. 学校関係者評価委員会の総合的な評価結果

結果	理由
A	・パワーポイントを使って集計したことは、評価者としては分かりやすいです。しかし、質問項目が頭出しだけのものもありますので、技術的に工夫してほしい。 ・クラスも増え、乳児もいてそれに伴い教員、職員の数も増加し大きな変化、苦労があったことと思うが、軌道に乗り始めた様子で安心している。 ・大きな変化で皆さん、右往左往…と最初は聞きましたがそれも落ち着き、自信と喜びを持って仕事にあたっているようで、なにより。幼児、乳児とそれぞれの場で協力し合い力を発揮されるよう願っている。 ・アンケートの取り方で「改善のアイデアがある」そしてコメントを載せる…という分類が良い。 ・気になったのはやはりお迎えにきた時に短い時間でも担任と顔を合わせて話をしたいという保護者の思いは大きい。仕事をしている方が多いのでしょうが何か、解消できる方法がないものかと、感じた。 ・多くの変化があった今年度、お子さんたちの健やかな成長発達を保障するために、幾度となく、教職員の方々が対話を重ね、あるいはおひとりでふりかえりながら、日々の保育にあたってこられたことと考える。 保育、教育の営みは、その取組みの成果が目に見えてすぐ現れるものばかりではない。お子さんの成長する力を大切にして、次年度以降、聖ミカエル幼稚園の保育が進められていくことと思う。今後、ますます幼保連携型認定こども園は社会のニーズに応えることを求められると思うが、いつの日も、お子さん方の笑顔が絶えることのない保育、教育が続くことを願っている。

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
職員の話し合いの徹底	正職、パートに限らず、子どもたちについて真剣な話し合いがなされる田茂の仕組み作りが必要である。月曜日から土曜日、朝7時から、夜7時までの開園という中で、皆が集まることは本当に厳しい。しかし、意思が疎通しない中で、良い保育はできないと考える。せめて、幼児部と預かり保育、乳児の会議をしっかり持ち、キリスト教保育の研修も行いながら、職員同士をつなげる工夫が大切である。
保護者同士のつながり	・1号認定、2号認定どちらも保護者で就労している方がとても多くなり、保護者同士のつながりの希薄さを感じる。どの保護者も、お子さんとお子さんのお友達のつながりをとても喜んでいるので、子どもを交えたつながりつくりを工夫していきたいと考えている。
地域との連携	・特別支援教育、年長児の進学先等、地域との連携は欠かせない。コロナ禍の中ではあるが、こちらから積極的にアプローチすることを通して、地域との連携を強化していきたい。

自己評価項目一覧 ―園長編―　2022年度　聖ミカエル幼稚園　園長　渡部　良子

＜評価基準＞　Ａおおむね良い　Ｂふつう　Ｃ改善を要する

評価分類			内　容	評価	内容
Ⅰ 教育内容	1	保育の計画	①　建学の精神に基づき教育理念や教育目標を明文化している	A	キリスト教会の付属幼稚園としての立場、園独自の教育目標を、父母の会総会資料、パンフレットやホームページで明記している。
			②　教育課程は教育理念に基づき、教育要領の精神を踏まえて編成している	A	教育理念、教育要領に即し教育過程を編成している。また、月々の保育計画を保護者にも手紙で知らせるようにしている。
			③　社会状況や幼児の実態、地域性などを考慮し、必要に応じて教育課程の見直しを行なっている	A	毎年、職員の話し合いの下に教育課程の見直しを行っている。
			④　乳幼児の生活が豊かになるように行事を精選し、幼児の発達を踏まえて、その内容や実施の仕方について見直しを行なっている	A	幼児の成長のためには、多様な経験のできる行事を大切にしていきたい。今年度も、コロナウイルス感染拡大防止の観点から、保護者には様々な制限をお願いしたが、子どもたちのためにできるだけ形を変えないように工夫した。
	2	教職員体制の充実	①　教職員が園の教育理念や教育方針を共通理解するための取組みを行なっている	A	毎月の職員会議、各学期はじめの職員会議で共通理解を図っている。特に今年度は、職員の人数が増え、開園時間も増えたことから、会議をZoomで行い、パートの先生方も話し合いに参加できる体制を取った。今後も、お互いの違いを理解しながら、助け合える職場を維持していきたい。
			②　指導計画が教育要領、教育課程、幼児の実態に即したものになっているかを把握し、指導助言できる体制をつくっている	A	幼児部は毎日の保育日誌で、担任の様々な工夫や、失敗や悩みが記され、主任が毎日助言を返している。この取り組みにより、若手・中堅が育ってきている。また、乳児部は、毎月行われるZoomによる会議の中で、疑問点を話し合うようにしている。
			③　教師が上級免許や他の資格を取得したり、教員免許の更新をしたりする機会を確保している	A	職員に資格に関する情報を的確に伝え、時間を確保できよう職務をカバーできる体制を組んでいる。「幼稚園ナビ」に登録し、情報取得や、研修申し込みがスムーズになった。
	3	指導の在り方	①　環境を通して行う幼稚園教育の特質を理解し、発達の道筋を見通して教育的価値のある環境を計画的に構成している	A	職員で話し合って、子どもたちの成長に合った保育ができていた。いちご組や3号認定のお子さんについては、長いスパンで発達を見通した保育を取り入れていきたい。
			②　乳幼児の主体性と教師の意図とのバランスを考慮しながら、幼児が主体的に活動できる環境を構成している	A	室内遊びでは、保育室をままごとコーナー、積み木コーナーなどに分け、子ども達が興味を持った遊びができるよう工夫している。また、その中にも教師がカリキュラムに沿って、その時経験させたい遊びを意図的に盛り込むようにしている。
			③　乳幼児とのかかわりのなかで信頼関係を構築するよう努める。安心して過ごすことができる環境を整えている	A	担任だけではなく、どの職員も子ども達に声かけをし、愛情をもって接している。コロナ禍の中でも子どもたちは朗らかに安心して過ごせていた。来年度も、ミカエルの良い雰囲気を大切にしていきたい。
			④　乳幼児一人ひとりの発達の特性に応じた指導を行なっている	A	年齢に応じてだけではなく、子どもの発達に応じて細やかに課題を設定し、支援を行っている。また、特別支援教育を必要とするお子さんには、安心して幼稚園の生活が送れるよ

					う、合理的配慮を行っている。
			⑤　教職員全員で一人ひとりの幼児を育てるという視点に立って、教職員間の共通理解と協力体制を築き、指導を行なっている	B	職員会議や、日々の会話の中で、共通理解が図られるよう心がけている。また、毎日の保育後の日誌は、預かり保育やバス乗車で会議に出られない職員にも周知徹底できるよう努めている。ただ、勤務時間の違いから、正規職員、パート職員全員が集まって保育について話し合う機会がなかなか持てないのが現状である。昨年度からは、ＺＯＯＭも取り入れた会議形式となり、その中でも様々な意見が出るようにはなったが、やはり直接言葉を交わし合う機会がもっと欲しい。
			⑥　遊びを通しての総合的な指導を行なっている	A	子ども達が遊びや絵本を通して工夫する力、創造力、理解力、コミュニケーション力を身につけられるよう指導している。
			⑦　障がいのある乳幼児に対して、家庭や関係機関と連携しながらその状態に応じた指導内容や指導方法の工夫をしている	A	聖ミカエル幼稚園では、特別支援教育コーディネーターを置き、関係機関との連絡を綿密にとりながら、保育にあたっている。また、保護者とは、コーディネーターと担任が毎学期面談を持ち、次学期・次年度の保育について相談をしている。特別支援教育は一部のお子さんのものではなく、全てのお子さんに還元されるものである。その視点に立って、より良い園の運営体制を整えていきたいと考えている。
			⑧　子どもの発達と学びの連続性を確保するため、幼稚園と小学校との連携を図っている	A	東区の幼保小連絡協議会に積極的に参加し、教師同士の交流や、小学校の授業の参観などを行う姿勢を持っている。また、２月には各小学校の先生をお招きし、進学する園児との交流を行う予定である。
	4	研修や研究	①　教育内容の質の向上や改善のため、園内研修を企画し行なっている	B	今年度は特別支援教育、キリスト教保育等、様々な研修を行った。しかし、職員全員が参加できる園内研修が厳しくなってきている。そこで、今年度ベネッセのＷＥＢ研修を購入し各自で視聴してもらった。
			②　教師の資質向上のために、公的機関などが開催する研修会などに参加する機会を確保している	A	担任だけでなく、補助教員にもできるだけ研修会等に参加し、学び、それを日々の保育に生かすよう指導している。Zoom等で行われる研修には参加するように働きかけ、学びを深めていた。
			③　個々の教師が自分の課題を把握し、その課題が達成できるような指導体制をとっている	A	保育をより充実させるために、日案作成・保育日誌をもとに、教員同士の話し合いを持っている。
Ⅱ 地域の幼児教育センターとしての役割	1	子育ての支援	①　子育ての支援のために、未就園児の親子登園や子育て相談、情報の提供などを実施している	A	未就園児クラスいちご組には、2歳コース15組、3歳コース15組の親子が通っている。子育て経験のある教師が担当しており、子どもの成長のためにお母さん方へもアドバイスを行っている。
			②　さまざまな教育に関する相談を受け入れている	A	ホームページ、未就園児クラスなどで体制は整えている。また、特別支援教育コーディネーターによる定期的な相談機関がある。機会があれば地域へ働きかけをしていきたい。
			③　子育ての支援に当たって、児童相談所や病院などの専門機関に相談や連携ができる体制を整えている	A	特別支援教育コーディネーターによる専門機関との連携体制が整っている。
	2	預かり保育	①　教育課程に基づく活動を考慮したうえで預かり保育の内容を検討し、計画的に行なっている	A	季節ごとの計画を立てて、毎日実施されている。キリスト教保育を意識しながら、室内遊び、外遊びの中で子どもたちの発達に応じた

					活動がなされている。
			②　預かり保育を担当する教師の体制を整えている	A	夕方７時30分までの勤務の職員を配置している。また、朝の預かり保育も、６時30分から出勤する職員を配置している。
Ⅲ 安全管理	1	外部侵入者などに対する安全対策	①　幼稚園施設整備指針に基づき、適切な防犯体制を整えている	A	新園舎となり、SECOMによる防犯体制が整った。隣の旧園舎と教会に泥棒が入ることがあったが、新園舎は入られることなく無事であった。
	2	施設・設備・園児に対する安全対策	①　地震などの自然災害に対する防災対策を整えている	A	１年に３回の避難訓練を行っている。また、保護者に一斉にＳＮＳ配信するシステムを整え、好評である。今後も大きな地震に対する安全策を考えていきたい。
			②　園設置基準を踏まえ、施設設備の安全管理に努めている	A	安全に関する施設の点検を定期的に行っている。
			③　消防法を踏まえ、消防計画を作成し実施している	A	消防に関する連絡体制、各担当の動きを決めて、避難訓練のたびに確認している。
			④　防火管理者を定めて防火管理を行っている	A	防火管理者の資格保持者を置いている。
			⑤　設備や遊具の点検を定期的に行っている	A	必要に応じて、点検専門業者を入れて点検を行うようにしている。
	3	衛生管理	①　園設置基準を踏まえ、衛生管理に努めている	A	設置基準を踏まえ、職員が衛生管理に努めるほか、毎日清掃員による丁寧な清掃がなされている。
			②　学校保健法を踏まえ、保健安全計画を作成し実施している	A	年間を通した計画を立て、実施している。
			③　学校保健法を踏まえ、園児及び教職員の健康診断を実施している	A	園児の健康診断は５月に、職員は８月に実施した。乳児のみ、2回目を１月に行うことになって言える。
			④　学校保健法を踏まえ、伝染病予防や発生に対応している	A	各保育室の加湿、保育室、トイレ、階段の手すりなどの消毒に努めている。札幌市から出されるインターネット情報、メール情報は気をつけて見るようにしている。また、その時々の伝染病等に合わせて、必要に応じて家庭向けに「保健便り」を発行している。職員に看護師が入ったことにより、より安心できる体制となった。
			⑤　学校保健法により、学校医、学校歯科医、学校薬剤師を置いている	A	全て置いている。
Ⅳ 人事管理	1	園の教育目標達成のための人事	①　幼稚園設置基準を踏まえ、園の教育目標が達成できる人事を行っている	A	設置基準を踏まえた人事を行っている。
			②　幼稚園設置基準を踏まえ、個々の教職員が自己評価などに努めている	A	全ての教職員において実施している。
	2	教職員の雇用条件	①　労働基準法に基づいた労働条件を整備し、明示している	A	法人の就業規則に基づいて運営されている。
			②　私立学校教職員共済法を踏まえ、教職員の福利厚生に努めている	A	全ての職員の福利厚生に努めている。
	3	就業規則に基づく労務管理	①　労働基準法に基づいて就業規則を作成し、行政官庁に届け出ている	A	法人で作成している。
	4	教職員の健康管理	①　学校保健法に基づき、毎年、教職員の健康診断を実施している	A	８月・１月に実施した。

Ⅴ 財務管理	1	予算作成及び予算管理	① 学校法人会計基準に基づき、予算書を作成している	A	作成している。
			② 月次で予算管理を行い、補正予算が必要な場合は理事会の承認を得ている	A	適正に行っている。
	2	決算	① 学校法人会計基準に基づき、会計処理を行うとともに財務計算に関する書類を作成している	A	適正に行っている。
			② 決算は公認会計士の監査を受け、適正であることの証明をつけて監督官庁に届け出ている	A	適正に行っている。
	3	納付金算定	① 園児納付金の算定に関しては、算定根拠をしっかりともち、外部に説明できるようにしている	A	適正に行っている。
	4	物品購入	① 教材などの在庫は種類・量共に、適切に管理している	A	教職員で計画的に管理している。
Ⅵ 評価と情報の公開	1	評価	① 重点目標とそれを達成するために必要な評価項目を定めて自己評価を行っている	A	園長、教職員でそれぞれ行った。
			② 自己評価の結果や分析、それを踏まえた今後の改善方策を自己評価の結果報告書にまとめている	A	園長、教職員でそれぞれ行った。
			③ 学校関係者評価委員会を設置し、自己評価の結果について学校関係者評価を行っている	A	適正に行っている。
	2	情報の公開	① 幼稚園設置基準により、教育活動その他の学校運営の状況について、積極的に情報を提供している	A	園便り、クラス便り、ホームページで積極的に情報を提供している。また、紙媒体で間に合わない情報については、緊急メールを活用している。
			② 公開する情報の中で、個人情報とされるものについては保護されるようにしている	A	園児の顔と名前が一致しないようにするとともに、写真等の公開には各保護者へ同意をとっている。
			③ 自己評価の結果を公表している	A	毎年、ホームページ上に公開している。
			④ 学校関係者評価の結果を公表している	A	毎年、ホームページ上に公開している。
			⑤ 幼稚園幼児指導要録の抄本・写しを小学校に送付し、情報の共有と相互理解を図っている	A	進学する園児分は各小学校へ、転園園児分は転園先へ送付し、情報を共有するよう努めている。

全体を通して

新園舎が完成し、４月からは幼保連携型認定こども園として、運営を開始した。まだ保育の形は試行錯誤の段階であるが、子どもたちが怪我をすることなく、穏やかに毎日を過ごせたことに感謝である。職員の人数が増えたが、卒園児、在園児の保護者が職員となってくれたり、園の方針をよく理解してくれたりしていた。何より、保護者の皆様が新しい幼稚園に期待し、子どもたちの成長を共に喜び合うことができたことにも感謝している。これからも職員が皆で理想を持ちながら、アイデアを出し合って幼稚園を進化させていきたい。

聖ミカエル幼稚園　関係者　評価表

評価年月日　2023 年１月２３日　　評価者　　お名前（　、三島徳三　　）

評価項目	評価（本園の行った自己評価の内容についてご意見、ご感想を自由にご記述ください。）
園長の自己評価について	妥当だと思います。
教職員の自己評価について	認定こども園になって職員が増えたからでしょうか、全体として昨年度より低い評価が見られるようです。とくにキリスト教主義にもとづく本園の保育目標については、さらなる研修と個別指導が必要ではないかと思います。
保護者のアンケート結果について	認定こども園になって、保育対象者がゼロ歳から 6 歳までに広がった結果、保護者の評価もさまざまです。アンケートを取るなら、質問項目を変えるなど工夫が必要ではないでしょうか。

全体を通して

　パワーポイントを使って集計したことは、評価者としては分かりやすいです。しかし、質問項目が頭出しだけのものもありますので、技術的に工夫してください。

評価（　A　）

聖ミカエル幼稚園　関係者　評価表

評価年月日　2023年１　月２３　　日　　評価者　　お名前（山崎恒子　　）

評価項目	評価（本園の行った自己評価の内容についてご意見、ご感想を自由にご記述ください。）
園長の自己評価について	コロナ禍が続く中にあって思うようにすべてを運ぶことができないということと、この年度は幼保連携型認定こども園への移行があり本当にいろいろな面でたいへんな年だったと思います。 クラスも増え、乳児もいてそれに伴い教員、職員の数も増加し大きな変化、ご苦労があったことと思いますが、軌道に乗り始めたようで園長先生のお力と思っております。
教職員の自己評価について	こちらについてもこの大きな変化で皆さん、右往左往…と最初は聞きましたがそれも落ち着き、自信と喜びを持って仕事にあたっているようで、なによりです。 幼児、乳児とそれぞれの場で協力し合い力を発揮されるよう願っています。
保護者のアンケート結果について	まずアンケートの取り方で「改善のアイデアがある」そしてコメントを載せる…という分類が良いですね。 こども園となり園の体制、内容の変化が今まで兄、姉を通わせていた保護者から見ると少し感じるところがあるのでしょうか。また働く保護者が増えたこともありいろいろなことで今までにない反応もみられます。 一つ、気になったのはやはりお迎えにきた時に短い時間でも担任と顔を合わせて話をしたいという保護者の思いは大きいものです。仕事をしている方が多いのでしょうが何か、解消できる方法がないものかと、感じました。

全体を通して

こども園となり、教職員が増えさらに難しい課題もあるのだと思いますが、事故なく皆が前を向いて進んでいくことできますように願っています。

聖ミカエル幼稚園　関係者　評価表

評価年月日　2023 年　月　　日　　評価者　　お名前（　植木克美　）

評価項目	評価（本園の行った自己評価の内容についてご意見、ご感想を自由にご記述ください。）
園長の自己評価について	教育内容、地域の幼児教育センターとしての役割、安全管理、人事管理、財務管理、そして評価と情報の公開の全てに渡って、適切な評価を行っていると考えます。お預かりしているお子さんの健やかな成長発達を第１に考え、保護者の皆様のニーズを真摯に受け止め、なおかつ新しい教職員を迎え全教職員の心身の健康と学びを保障することに腐心されている園長先生の取組を評価させていただきます。特に、安全管理については、常に対策を整え、非常時の対応を万全にしようと努力されています。
教職員の自己評価について	コロナ禍から少しずつ社会が動きだした環境の中で、幼保連携型認定こども園に移行し、新しい教職員が増え、日々の保育を進めることには大変なご苦労があったことと推察します。 地域の自然・人々とのかかわり、小学校との連携、子育ての支援と地域への開放等において、必要だと考えても、コロナ禍にあって十分に実施できなかったことについての自己評価を読み取ることができます。保護者への情報発信・受信についても、今後の課題としている教職員がいらっしゃることがわかります。 このような課題、そして今日的課題等に取り組むための研修・研究については、インターネットによる講座を取り入れことで、それぞれの教職員が取組み易い体制が整えられた理解します。 聖ミカエル幼稚園の教職員の皆さんは、回答者全員が保育の楽しみ・喜びを高くもち、このことが次年度からの保育の質の向上に十分に取り組むに足るエネルギーになると考えます。
保護者のアンケート結果について	幼保連携型認定こども園への移行の年度にあって、多くの変化があり、新在園児家庭の皆様からの新たなニーズ、保護者の方ご自身やきょうだいが在園していた等これまで歴史を園と共に歩んできている在園児家庭の皆様が抱くニーズ等々、多様なニーズが率直に述べられているアンケート結果であると考えます。そして、ニーズを伝えるだけではなく、これらのニーズについて、園、教職員と一緒に考え、子どもにとって最善の保育の場を共につくりあげていきたいという保護者の方の思いを理解できるアンケート結果になっています。 このように、率直に保護者の皆様がニーズを表現できる信頼関係を園は保護者と築けていると考えます。そして、保護者の皆様のニーズを、園は真摯に受け止めながら、教育の理念、目標等を保護者にわかりやすく説明しようと取組まれているところが評価されます。

全体を通して

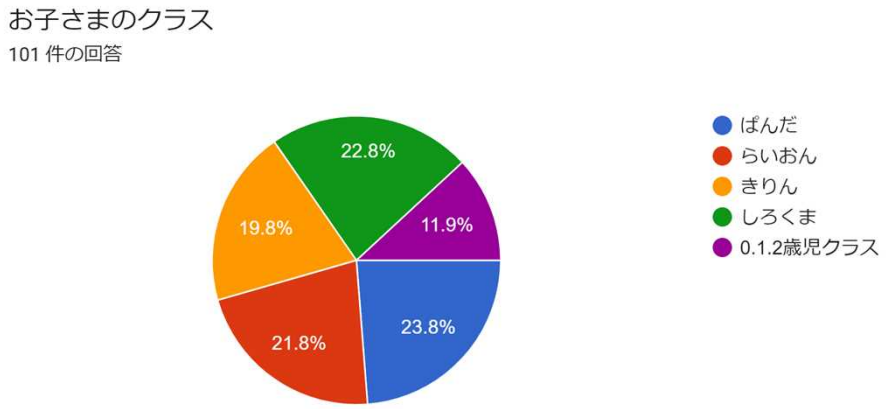
多くの変化があった今年度、お子さんたちの健やかな成長発達を保障するために、幾度となく、教職員の方々が対話を重ね、あるいはおひとりでふりかえりながら、日々の保育にあたってこられたことと考えます。大変お疲れ様でした。

保育、教育の営みは、その取組みの成果が目に見えてすぐ現れるものばかりではないことと思います。お子さんの成長する力を大切にされて、次年度以降、聖ミカエル幼稚園の保育が進められていくことと思います。今後、ますます幼保連携型認定こども園は社会のニーズに応えることを求められると思いますが、いつの日も、お子さん方の笑顔が絶えることのない保育、教育が続くことを願っています。

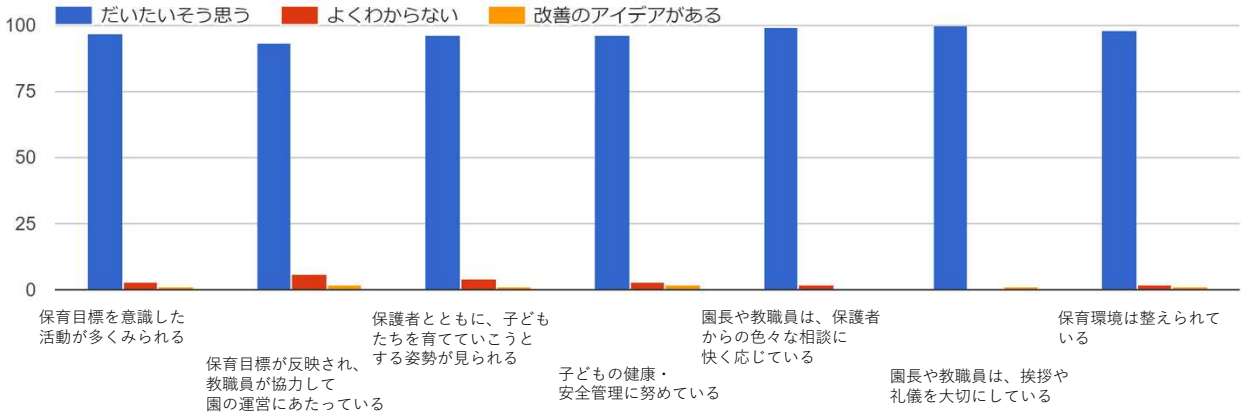
評価（　A　）

2022年度
ミカエル幼稚園
学校評価アンケート
結果

回答者に関して



Ⅰ 園の運営姿勢・教職員の指導姿勢についてお答えください



上記の質問の中で「改善のアイデアがある」にチェックをつけた方はコメントをお願いします

・以前のように副担任が居た方が子どもも気持ちが安心すると感じる。

・先生方の連絡の共有がうまくいっていないと思います。お休みやお預かりの時間変更など伝えても伝わっていない事が多くあり、困る事がありました。お便りも他のお家のものが混ざっている事も数回ありました。中にはお金に関する物も間違って入っていたりしていたので、そこは注意して確認してほしいと思います。

・朝の挨拶などはもう少し先生側から大きな声でしていただけたら子供達が真似するんじゃないかと。
挨拶してくれる先生が大半ですが、見守ってるだけの方もたまに見ます。

・副担任もいた方が安心

・教職員のマスク着用は、屋外屋内関係なく徹底してほしい。

・体を動かす遊びをもっととりいれてほしい(体操など)

Ⅱ 下記の日常の主な活動は幼稚園の保育目標・保育の柱を受けて行われているかお答えください

- 園長より

・副担任について⇒昨年度の様に、固定の副担任ではないものの、必ず教職員が複数クラスに入っていて、教職員がいなくなることはありません。

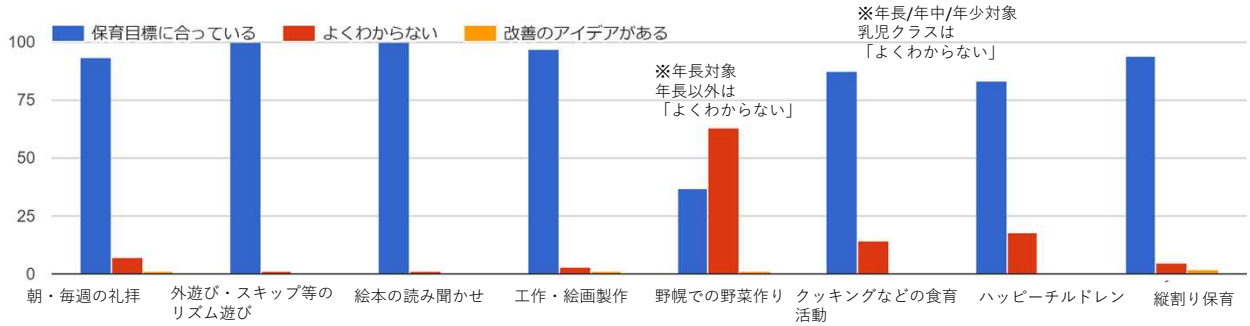
・連絡の職員間の共有について⇒ご家庭から連絡を受けた者は、職員室のボードに必ず記入することになっていますが、徹底されていなかったことについて、お詫び申し上げます。今後職員に徹底して参ります。

・朝の玄関の挨拶について⇒お子さんへの挨拶については、1，2学期はお子さんの様子を見ながら対応していました。中には、職員が大きな声であいさつをすることにより、委縮してしまうお子さんもいます。しかし、3学期、特に心が育ってきた年長さんは、入学に向けて挨拶を大切にしていこうと考えています。

・職員のマスク⇒札幌市や文部科学省の指導の下、適切に着用しています。

・体を動かす遊び⇒自由遊びや外遊びを取り入れていますが、来年度から専門家による定期的な活動も考えています。

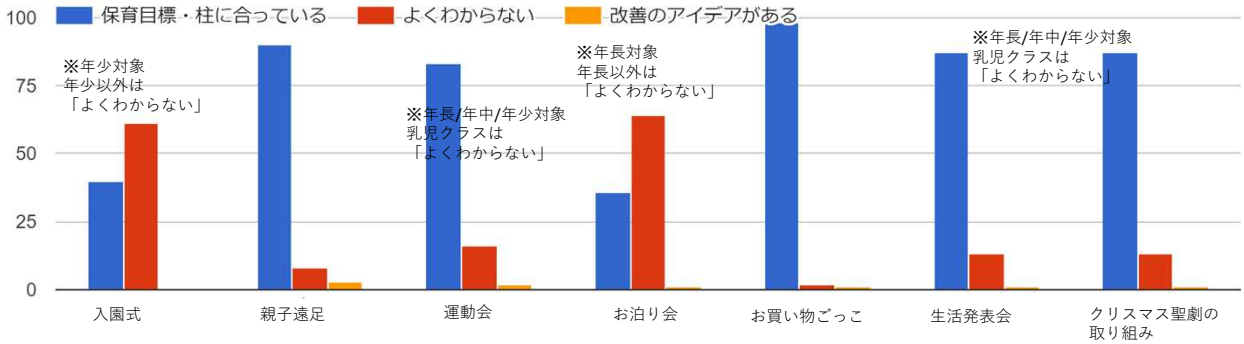
Ⅱ 下記の日常の主な活動は幼稚園の保育目標・保育の柱を受けて行われているかお答えください



上記の質問の中で「改善のアイデアがある」にチェックをつけた方はコメントをお願いします

・運動会は横割りの方がいいなと感じた。
・年少年中の横割りも少しはあったらいいのかなとも思いました。
・今は主に縦割りだとお聞きしましたが、横割り保育ももう少しあるといいのになと思いました。 姉二人の時はクラスが違うお友だちの名前もよく出ていましたし仲良く遊んだりもしていましたが、今は他のクラスのお友だちとは預かりの時にしか遊ばないとのことなのでもう少し横割り保育の時間も増やしていただければと思います。
・立体工作だったり、紙以外の素材での製作がお買い物ごっこ以外にもあると、楽しいのではないかと思います。
・お礼拝でお祈りするのはいいですが、お祈りの時間が長いのと子供達には内容が少し難しいのかなと思います。
・縦割り保育はとてもいいですが、横割り保育の時間をもう少し増やしてほしいです。同年代のお友達と仲良くなれるように。

Ⅲ 年間の行事は保育目標・保育の柱を受けて行われているかお答えください



上記の質問の中で「改善のアイデアがある」にチェックをつけた方はコメントをお願いします

・降誕劇ではなく終業式なのですが、終業式の間中子ども達がジャンパーを着ているのは暑くないのかな…と毎年思っています。

・運動会は横割りがいいなと感じた
・親子遠足は密を避け、車で行きやすい場所になったのだと思いますが、モエレ沼ならではの活動内容があったら良かったと思います。
・親子遠足はコロナ禍で大変かと思いますが、毎年同じ場所同じような内容では子供達もウキウキしないと思います。あの広い場所でマイクの音量が小さく全く聞こえていませんでした。次に何をするのかよくわからないまま進んでいたので困惑しました。
・運動会は広いグラウンドでできたのは感謝します。 番号順で並ぶ時、どこにどのクラスで並ぶのかなど当日先生に聞いてもわからないと言われ、周りの皆さんもどうしたら良いんだろう？と困っていたので事前に詳しく教えてほしいです。保護者席の間隔もせっかく広いグラウンドだったのに、お互い荷物を置くのも大変なほど狭くもう少し広めにしてもよかったのではないかと思いました。
・ お泊まり会については、子どもたちも楽しく過ごせたようで良かったのですが、少し気になったのは山登りなどして汚れたままの服をまた着るのは衛生的にもどうかと思いました。一泊二日の短時間でしたのでお風呂などは大変ですが、体を拭く頭を拭くなどしてほしかったです。
・親子遠足が土曜日開催になり働いている保護者にとっては都合がよくなり参加しやすいかとは思いますが、以前のように現地まで貸切バスで行くことでバスの中で保護者同士お話しができ交流を深めることができたのでそれがなくなり少し寂しいです。
・生活発表会ですが、2クラスずつの観覧でそれぞれ左右に分かれて観覧していましたが左右に分かれて座るのではなくクラスごと前後に座り、入替え制にするのはどうでしょうか？自分の子ではないクラスの発表の時にずっとスマホを触っている方がいてなんだか残念な気持ちになりました。

• 園長より

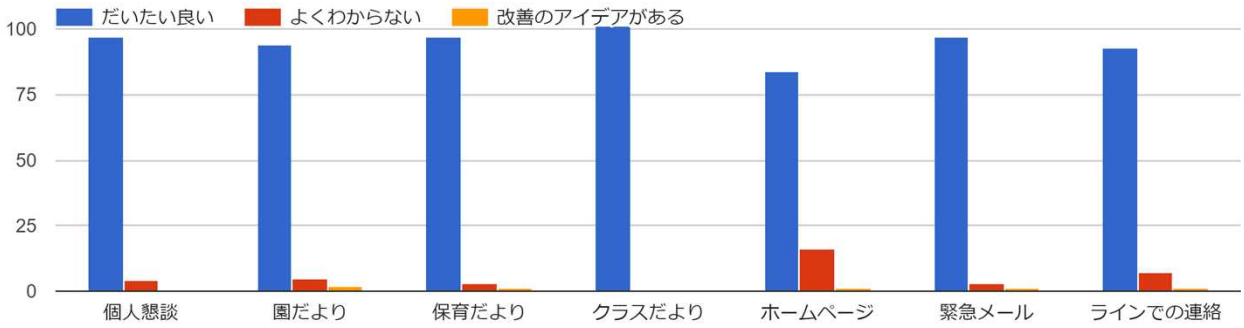
・横割り保育について⇒今年度から、年長さん以外は、縦割り保育のなかで、年齢に合わせた指導も行っていくことになりました。一年終わってみて、クラスの中で、年長さんの活動も、年中さんの活動も、年少さんの活動もお互い見合うことができ、とても豊かな保育になったと感じます。保護者の皆様が心配されるのは、他のクラスの同年齢のお友達とのつながり、保護者同士のつながりが希薄になる点ではないでしょうか。この点については、職員と話し合い、豊かなつながりが持てるように考えていきたいと思います。

・お礼拝の時間⇒入園の頃は長く感じるかもしれませんが、子どもたちは慣れてくると集中して、心からお祈りができるようになります。乳児クラスさんでは、1歳のお子さんも小さなお手々を合わせてお祈りしています。ミカエル幼稚園の中心の活動ですので、ご理解ください。

・親子遠足⇒駐車場の広さや、コロナウイルス感染予防を考えて、広いモエレ沼公園が選ばれています。以前は動物園で行っていましたが、たいへん混むことと、狭いために、今の公園に落ち着いています。同条件でどこか良い場所があれば、教えていただきたいです。

・生活発表会⇒4クラスとなり、お子様の体力のある午前開催を考えた時に、この形となりました。会場の広さとしては、ふたクラスでも十分皆さん、入ることができたのではないかと思います。時間のことも考えると、これが最善かと考えます。

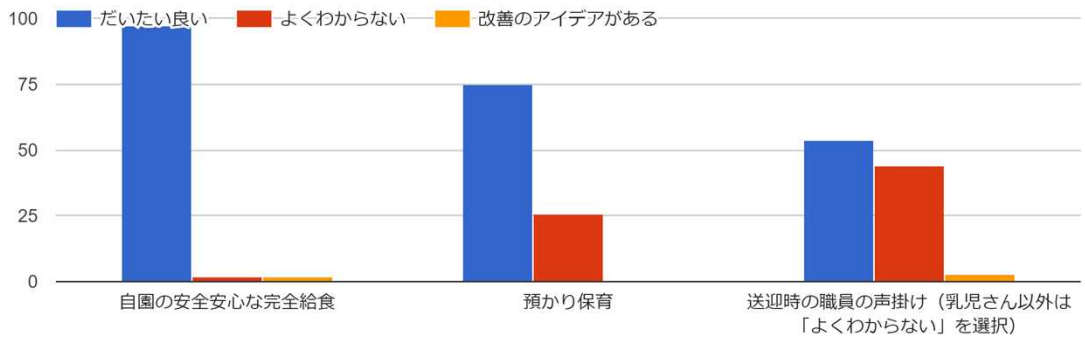
Ⅳ 幼稚園と家庭との連携・情報共有についてお答えください



上記の質問の中で「改善のアイデアがある」にチェックをつけた方はコメントをお願いします

・メールとラインでの連絡の区別がよく分からない時がありました。緊急メールを園からのメールにして、もう少しライン連絡を減らしてもいいのかなとも思いました)
・ブログの更新の頻度がわかると、保護者も見やすいと思います。
・手紙が多すぎると感じる。園便り、クラス便り、個別の周知など、周知事項があちこち散らばっていることが要因と思う。月間スケジュールの他には、1つの行事は1枚にまとめるなど体系的に整理してほしい。
・行事の案内（過去、運動会、生活発表会、クリスマス会の他、お買い物ごっこのスライドショーや、開催はされなかったが給食試食会など）が開催月の初月である事に関して、仕事と調整するのにもう少し早く案内頂きたいです。できれば、前月に前もってご連絡頂けると仕事の調整がスムーズかと思います。

Ⅴ その他さまざまな活動についてお答えください



上記の質問の中で「改善のアイデアがある」にチェックをつけた方はコメントをお願いします

・2週間ごとに同じメニューの繰り返しで、子どもが喜びそうなメニューが少ない。今はコロナで難しいとは思うが、以前のように仲良しランチもして欲しい。
・今年度より温かい自園調理の給食になり、もう少し食べてきてくれるかなと期待していたのですが、うちの子はなかなか難しかったようです。 お野菜も素材そのままだと好きな野菜なのですが、味付けが苦手で食べられないことが何度かありました。 給食は色々な味に触れる機会でもあるので、なかなか難しいかとは思うのですが、午後からの栄養もしっかりとって欲しいので、食べやすいメニューが増えてくれると有りがたいなと思いました。
・以前はお迎えの時に担任の先生が一緒に来てくれてちょっとしたことでもお話しできていましたが今はそれがないので残念です。 その代わりに？お会いした時は色々なことを教えてくださるのでそれについてはとてもありがたいです。小さなことでも電話をいただけるのもありがたいです。
・通常のお迎えの時、その日の様子を聞けないので、以前の様に担任の先生が玄関でさようならをしてくれる方がいいなと思いました
・前はバスにどんな事をして遊んだか、次の日の持ち物などかかれていたので、園での様子がわかり子供と今日はこれやってきたんだね！と話せたのでよかったので、前みたいにあると嬉しいです。

- 園長より

・緊急メールとラインの使い分け⇒幼稚園としては、緊急メールを言葉通りの「緊急性のあるもの」「園から早急にお伝えしたいこと」に、ラインを「クラスでお知らせしたいこと、サークル、保護者向け講演会」に大まかに分けています。

・ブログの更新⇒今年度は園長が中心に行いましたが、更新頻度が大変悪かったと反省しています。来年度は担当者を決めて、もう少し細やかに更新していきたいと考えています。写真もぜひご覧ください。

・手紙の量、内容⇒小さなお子様に関することですので、くどいくらい丁寧かもしれません。担任や担当者が時間をかけて作成しています。しかし、時代の変化によって、紙媒体からホームページなどへの移行も今後考えて行かなくてはならないと感じています。
また、大きな行事の御案内も、できるだけ配慮して参ります。

最後にご意見がある方はご入力下さい

・息子を聖ミカエル幼稚園に入園させて本当に良かったと思っています。いつもありがとうございます。

・いつも先生方が統一された信条のもと関わってくださいます。おそらく、園長先生やリーダーシップをとる先生方の保育理念がきちんと浸透している園なのだと思います。

・ 横割りの時間がもう少し増え、そこで楽しめるコツを掴めたら、更に子供たちの世界が拡がっていくのかなと思います。

・いつも子どもたちのことを1番に考えて保育していただいてありがとうございます。行事も充実した内容で子どもの成長を感じることが出来、日々の先生方の温かい関わりのおかげだと思っております。

・ コロナ禍前後では色々変わったこともあると思います。数年前と比較すると横割りの集合写真などもなかったので、横割りの保育の時間は少ないのかな？と感じました。 （すずらんさんになると必然的によさこいや降誕劇ですずらんさんでの活動が増えると思いますが） コロナ禍での制限や、こども園に移行して働く保護者の方が多くなったことで難しいことも多いと思いますが、同学年のお母さんたちのつながりや情報交換する機会が増えるといいなと思いました。

・生活発表会の時、２クラス分観られるのも嬉しいのですが、観られるのは自分の子どものクラスだけでもいいので席の取り方にもう少し余裕があるといいなぁ、と思いました。 入れ替わりが多いと大変でしょうか…。

・日常的な事に関しては、絵本が借りやすくなってとても嬉しいです。

・いつもありがとうございます。先生方の優しい見守りのおかげで、娘も楽しく登園しています。行事がたくさんありつつも保護者への負担は少ないので、先生方の負担が大きくないかな、と差し出がましくも心配になるほどです。 これからもどうぞよろしくお願いします。

・本当に、こどものことをよく見てくださいます。 縦割りクラスのきりん組の先生は、こどもの様子から強味、弱味をしっかり見て、 一緒にこどもを育てることを考えてくださいました。 また、日々のフォローアップもきちんとしてくだり、人間としての土台を親と一緒に作って頂きました。感謝の気持ちでいっぱいです。

・お預りの先生は、遅い時間のお迎えでも笑顔で迎えてくださり、毎日こどもの様子を教えてくださいました。 離れている時間も、楽しく過ごしている様子でした。 どうしても避けられなかったこども同士の問題も 的確に、迅速に対応いただきました。 大きな成長のきっかけになりました。 先生方に絵本を読んで貰っている場面では、家のようにリラックスしていました。

・絵本の蔵書は、質も量も素晴らしく こどもは絵本が大好きになりました。

・お迎えの時間が遅いので、必然的に会う機会が少なくなってしまった先生もいらっしゃいますが 降誕劇等、色々な事柄を指揮されたと聞き、こどもが家で一生懸命に練習する様子からも やる気を上手に引き出してくださったと感じました。 日々の仕事や生活に終われ、実家は遠方で頼れる親戚もないような保護者で、 至らない所もあったと思います。 それでも園長先生を初め、顔も名前も覚えてくださり、折に触れて優しくお声がけ頂きました。 園全体でこどもの健やかな成長を促し、見守ってくださいました。本当にありがとうございます。

・父母会の役員決めをもう少し平等に決める方法がないのかと感じる。

・新しく素敵な園舎になってクラスが増えクラス替えがあり、新しい環境になって新鮮な気持ちで通園できました。しかし職員や先生方が増えて名前も顔もわからず、子どもに聞いても「誰かわからない先生が手伝ってくれた」ということがよくありました。以前のように顔写真付きの職員紹介は難しいのでしょうか。去年は担任以外にも、バス添乗や補助の先生の名前がよく聞かれましたが今年は担任の先生の名前しか出てこないのが少し寂しいです。

・誕生会の日に一緒にクラスで過ごすことができ、クラスの子どもたちと関われたり一緒にお祈りや自由遊びを出来たことが親も子もとても嬉しかったです。

・3年間、先生や関係者の方々にはとても優しくしていただきお世話になり感謝しております。 色々書かせていただきましたが、これから過ごす子どもたちにさらに良い日々を送っていってほしい思いで書かせていただきました。

・毎日幼稚園にいくことを楽しみにしています。(休日も「きょうは幼稚園？あしたは？」と聞いてくるくらいです) 幼稚園に行くと、どの先生からも名前で声をかけてもらい、認識してもらっていることにとてもうれしそうです。そして特に同じクラスの年長さん年中さんが本当に優しく、声をかけてくれたり時には助けてくれたり、親子ともども助けられています。優しいお兄さんお姉さんを間近に感じ、憧れて目標にしながら成長していけるのは、縦割り保育の良さだなぁと心から感じています。 ミカエル幼稚園のあたたかく見守ってくださる保育、いつも感謝しております。ありがとうございます。 三学期以降もどうぞよろしくお願いいたします。

最後にご意見がある方はご入力下さい

・今年は保育士さんの傷ましい事件などが多く、幼稚園の事を全面的に信用していますが、それでも不安になる事があります。 信用してるから、こちらから聞きづらい面もありますので、 バスの点呼や教室での点呼、休んだ場合の連絡など、日頃の安全確認をどの様な手順で行っているのかなどを親にも教えていただけると、安心できるかなと思います。 我が子はバスには乗りませんが、身近で悲しい事故がおこるのは見たくありません。

・ 先日、検温アプリでの連絡がない家庭が増えてきた、ない場合は連絡する事もあると 連絡が来てましたが、対応が遅いと思います。 入力を忘れる親側にも意識改善が必要ですので、なぁなぁになる前にルールを守って頂くよう、園側から言うべきだと思います。私も検温入力を忘れる事ないよう今後も気をつけていきます。

・先生方にはいつも相談にのっていただいたりして、ありがたく思っています。 縦割り保育で、お兄さんお姉さんのようになりたいと真似をして育っていくのが目に見えてわかるので、とても良いと思います。 これからもよろしくお願いします

・毎朝のGoogleフォームでの体調管理の件についてです。 内部でどのようにチェックされているのかわかりませんが、欠席の人だけが送信し、それ以外の出席で体調不良なしは送信しなくて良い、などは難しいのでしょうか？

・いつも楽しく通っていて感謝しています。 一つだけ気になったのは、生活発表会は1クラスずつが良いと思いました。 （時間の関係等もあり難しいのかも知れませんが、、）

・認定こども園になり昔のアットホームな感じのミカエル幼稚園がなくなりつつある気がして正直少し寂しいですが時代の流れもあるので仕方ないですね…。

・長く続くコロナ禍の中で子どもたちのことをいつもいちばんに考えてくださりとても感謝しております。ありがとうございます。

・今年の事件を受け（ミカエルではないとは思いますが） バスに乗る子は万が一の時のための、クラクションを鳴らす訓練があっても良いのではないかとおもいました。

・以前は担任の先生がバスに乗っていたり、お迎えで担任教諭にいつでも会えたのでちょっとした会話で安心感を持つことが出来たのですが、新園舎になりそこがなくなってしまったので、少し残念に感じています。

・自園給食になり、ご飯が美味しいと子供が言っています！クリスマスや行事などの際に、他園で取り入れているようなバイキングなどあったら楽しいのではないかとおもいました。

・楽器の活動も子どもが楽しみにしているので取り入れていただけると嬉しいなと思いました。

・いつもありがとうございます。 幼稚園内で感染症が出た場合にメールなどで周知して頂けると大変助かります。

・新人の先生に担任を持たせるのは負担が大きすぎるのでは？せめて副担任からのスタートの方が良い気がします。副担任制はあった方が良いです。

・園バスの時刻表にきいろバスが載っていないのはなぜでしょうか？

・今年からの新体制になって生徒数が増えたからのせいもあるのか先生から母親達への子供達の様子の声掛けが以前より減った気がして残念です。

・いつも子どもたちが楽しく過ごせるよう先生たちがいろいろ考えてくださっているおかげで、うさぎ組楽しかったよー！と言って帰ってきます。 送迎時のお忙しい時間であっても、育児の相談やアドバイスをしてくださったり、子どもの何気ないひと言を気にかけてくださり、担任の先生に伝えてくださったり、朝ごはんを褒めて素敵なことと仰ってくださったことが嬉しかったです。 家庭保育だけでは経験できないことをたくさん経験して、これからも元気に過ごしてほしいなぁと思っています。今後とも、よろしくお願い致します。

最後にご意見がある方はご入力下さい

・個人的に、横割り保育の時間をもう少し増やして欲しいと思いました。

・いつも大事に保育していただき感謝致します。

・いつも献身的な保育にあたってくださり、ありがとうございます。

・再度１つだけお願いがあります。 最近、幼稚園でのマスク着用が任意になっている園や学校がどんどん増えてきているので、ミカエル幼稚園でも早く子どもたちのマスク着用が任意になることを願っています。

園長より

・4月から新しい園舎、新しい体制となり、以前より良い環境を子どもたちの意提供することとなりました。しかし、在園の子どもたちや、ごきょうだいからずっとミカエルにお子様を通わせてくださっている保護者の皆様には、大きな変化を強いることとなり、本当に申し訳ありませんでした。子どもたちは、徐々に今の環境に慣れましたが、保護者の皆様の中には、以前のミカエルの良さ、つまり保育者と保護者の距離が程よく近く、親しみが持てる良さが失われている、という不安をお持ちになった方がいらっしゃったということです。確かに保護者が２階に上がってきてくださらない限り、毎日担任と会うこともできず、ということでしょう。連絡帳に書くほどでもない、ちょっとした嬉しかったこと、ちょとした心配や疑問を、すぐにお話しできる環境が少ない、ということですね。
担任は、2便目のバスのお子さんの保育があるため、なかなか玄関に降りることができません。もしよろしければ、園長や、主幹の瀬野尾が1階にいますので、お声掛けをしていただけると嬉しいです。（園長はできるだけこちらからお声をかけるようにしています。）

・幼稚園バスに関しては、マニュアルに沿って、確認を進めながら安全に努めております。安全対策の機器も今後つけることになりますが、まずは添乗員が子どもたちの顔と名前をわかっているか、ということが一番かと思います。その点を大切にしながら、今後も運行してまいります。ご不安なことがありましたら、おっしゃってください。

・園児のマスクの着用ですが、園医と相談をしながら進めていきたいと思っております。
3歳以上の子どもたちには、屋外ではマスクを取るよう指導しています。

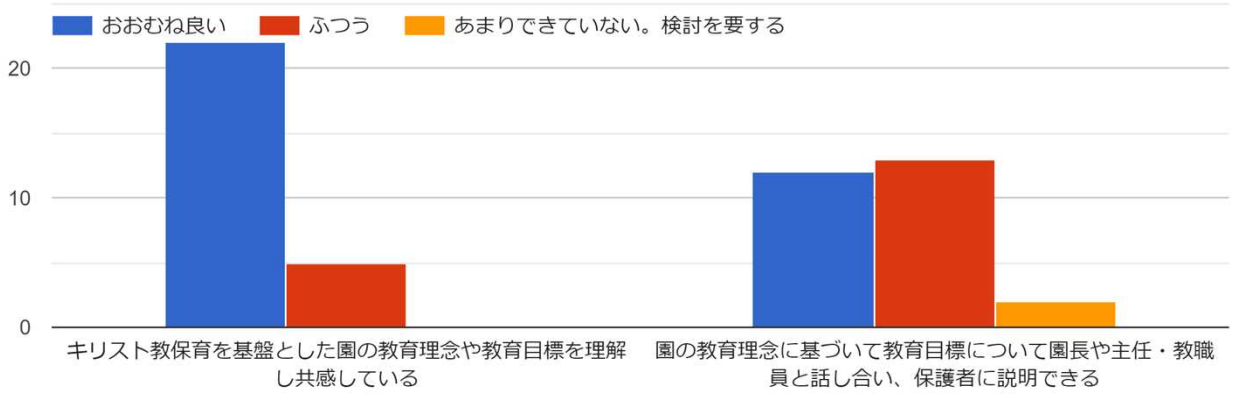
・たくさんの保護者の皆様から、温かいご意見をいただきました。主任も主幹も、担任も、補助も、預かり保育担当の教員も、事務も給食職員も、新しい環境の中で、慣れない中、とにかく子どもたちを安全に生活させたい、喜ばせよう、楽しませよう、そして「大きくなあれ」という願いを込めてここまで保育をしてまいりました。これからも保護者の皆様と幼稚園が協力し合いながら進んでいけますように。どうぞよろしくお願いいたします。

2022年度
ミカエル幼稚園
自己評価
結果

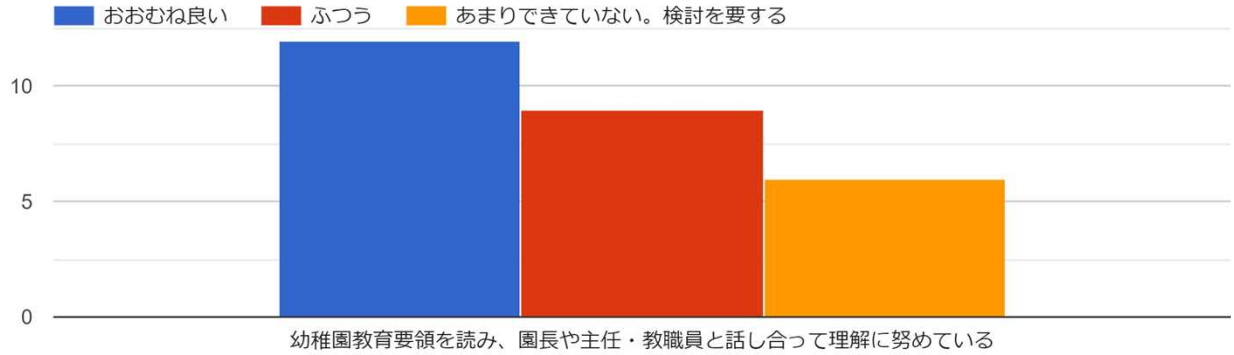
回答者に関して 回答者：27名

Ⅰ 保育の計画性について

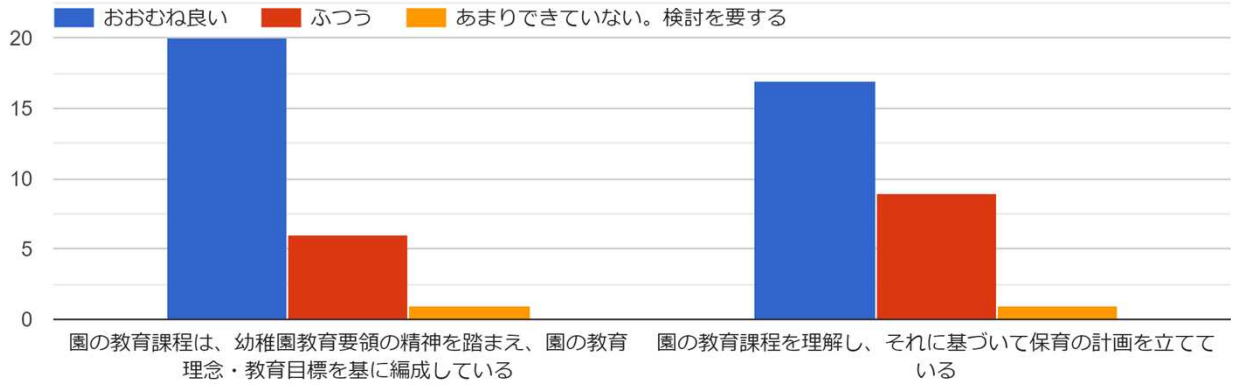
園の教育理念・教育目標の理解



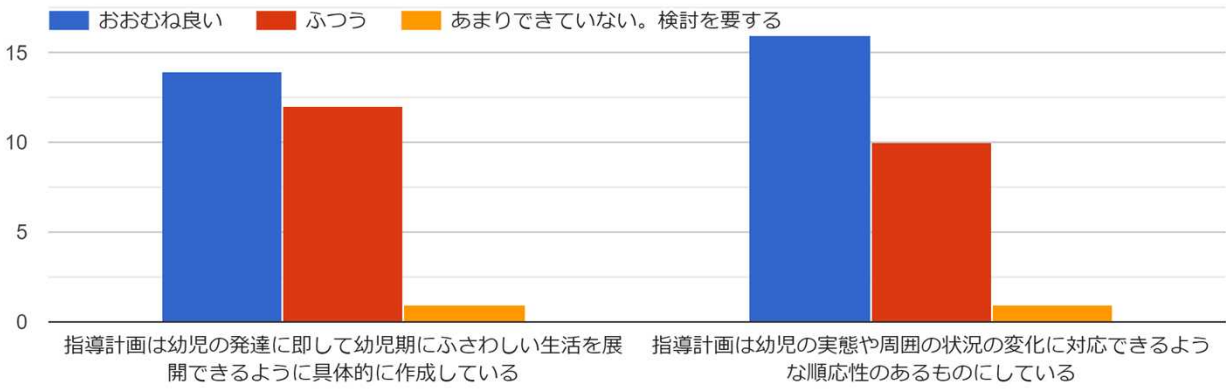
幼稚園教育要領の理解



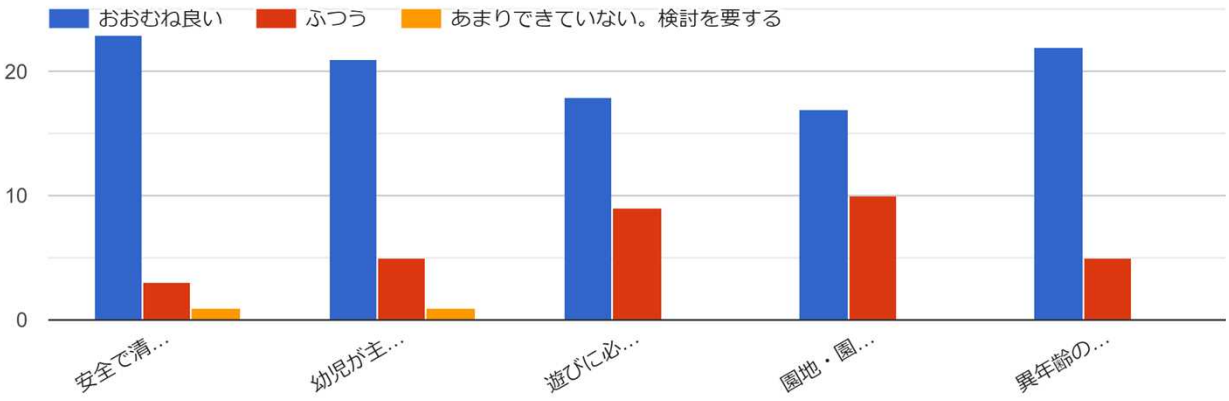
教育課程の編成



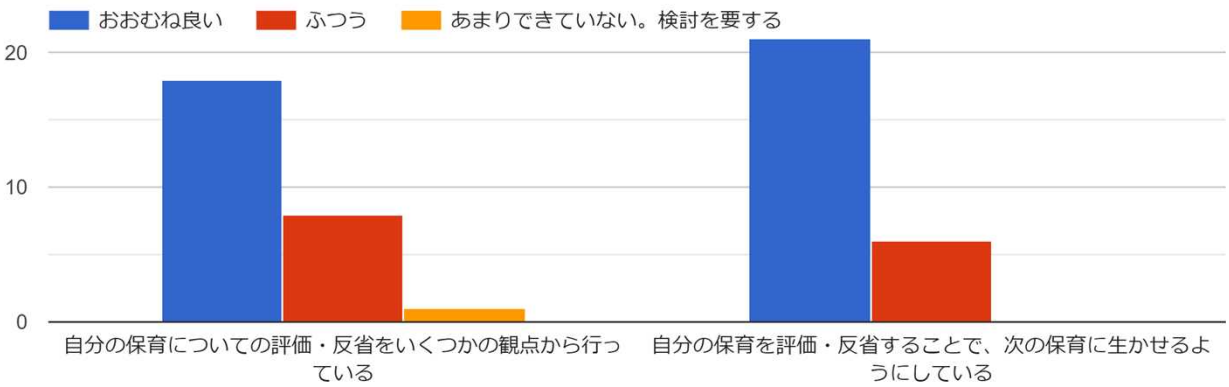
指導計画の作成



環境の構成



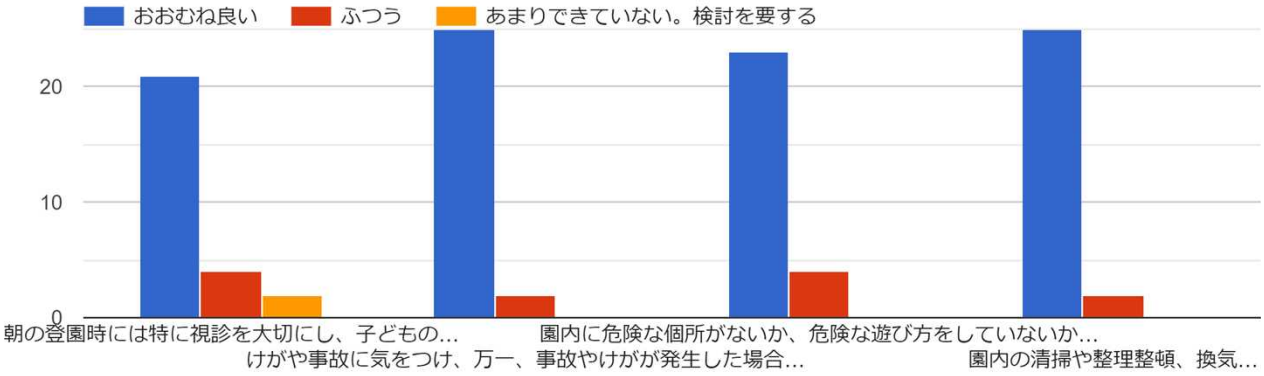
評価・反省



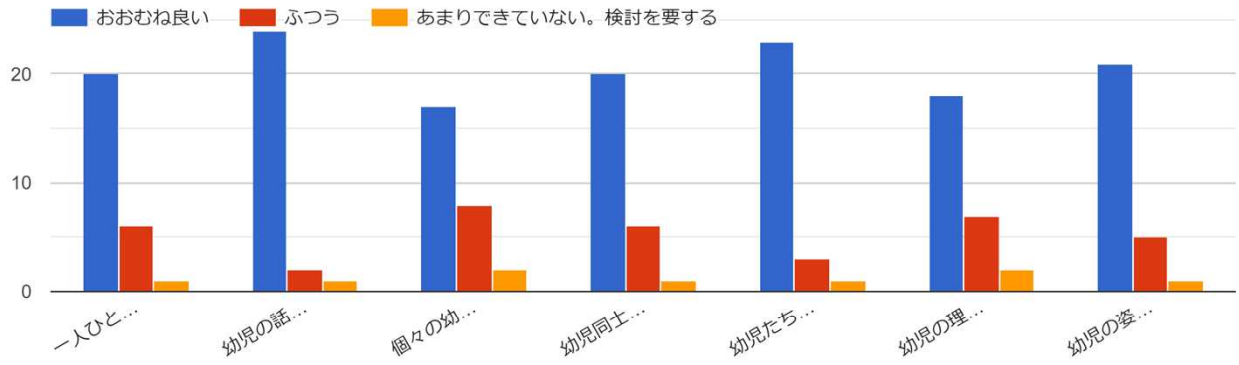
回答者に関して 回答者：27名

Ⅱ 保育の在り方、幼児への対応

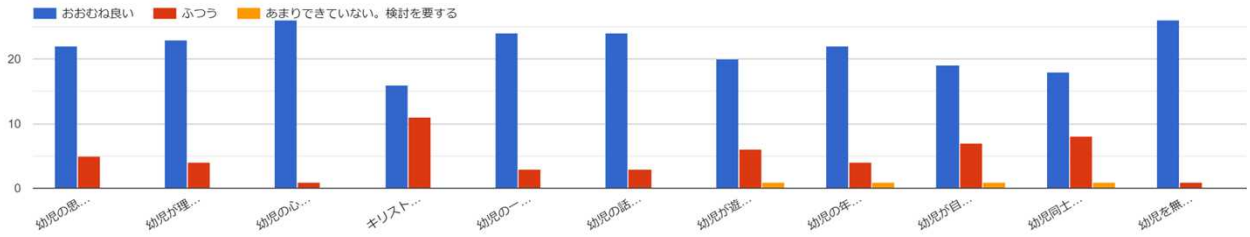
健康と安全への配慮



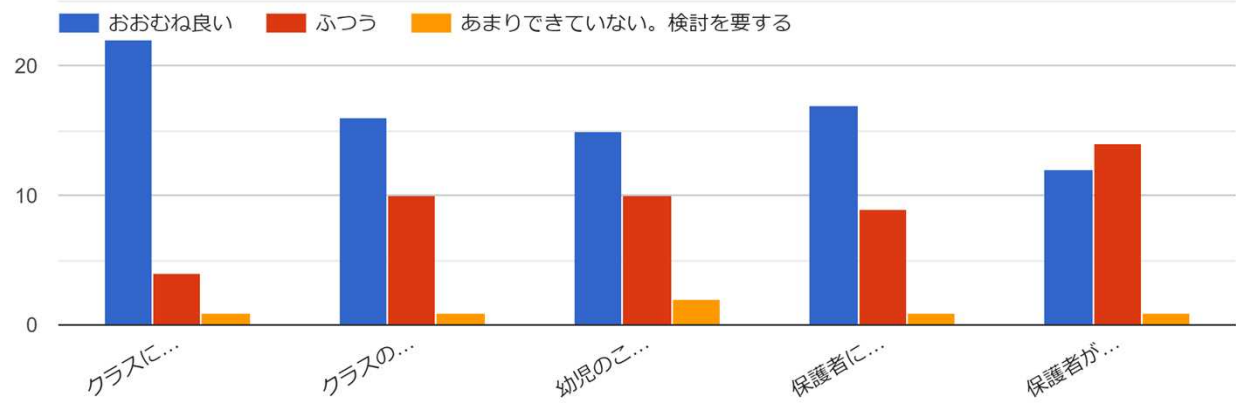
幼児理解



指導とかかわり



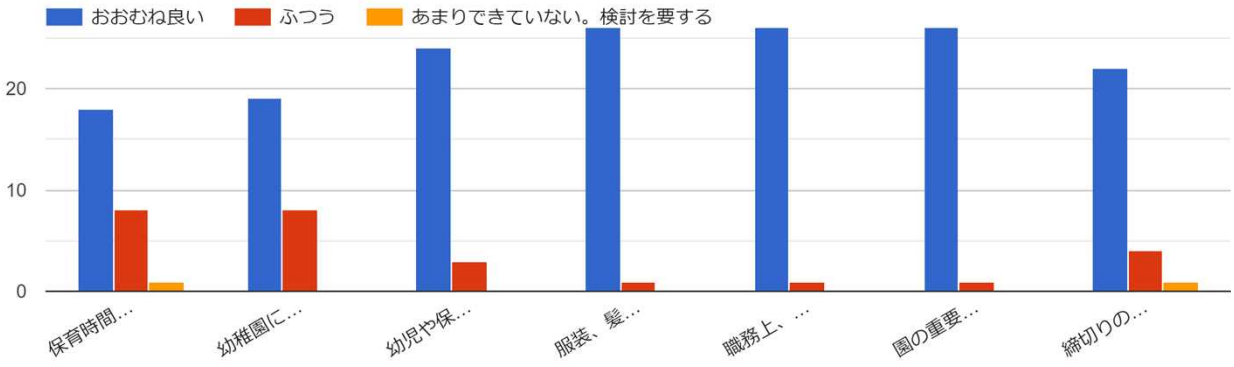
保育者の協力・連携



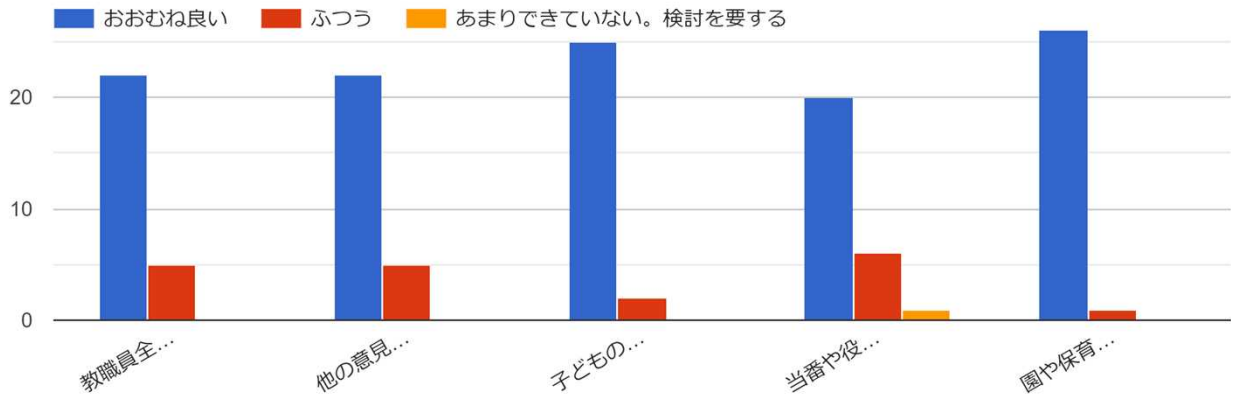
回答者に関して 回答者：27名

Ⅲ 保育者としての資質

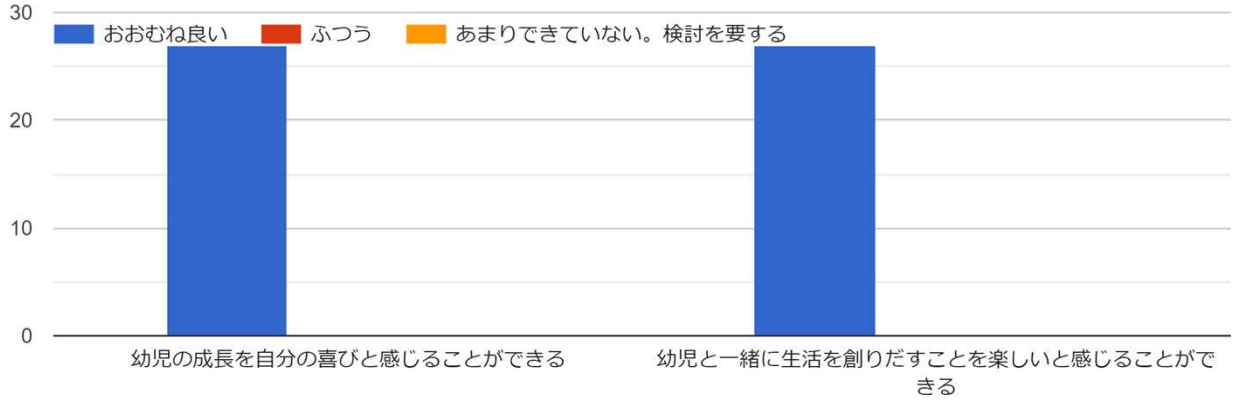
専門家としての能力・姿勢・義務



組織の一員としての在り方



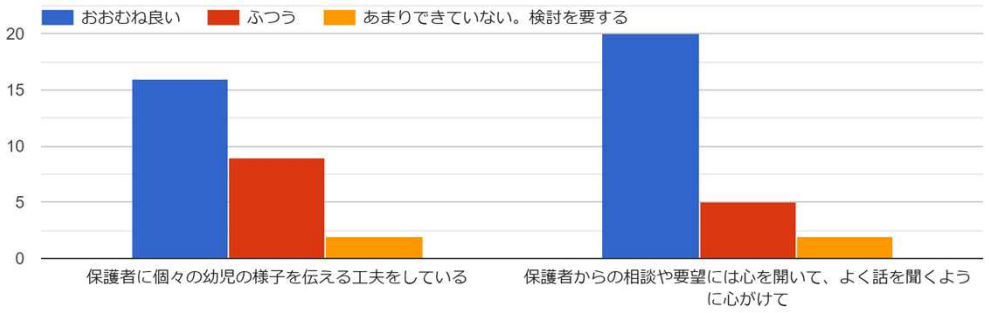
保育の楽しみ・喜び



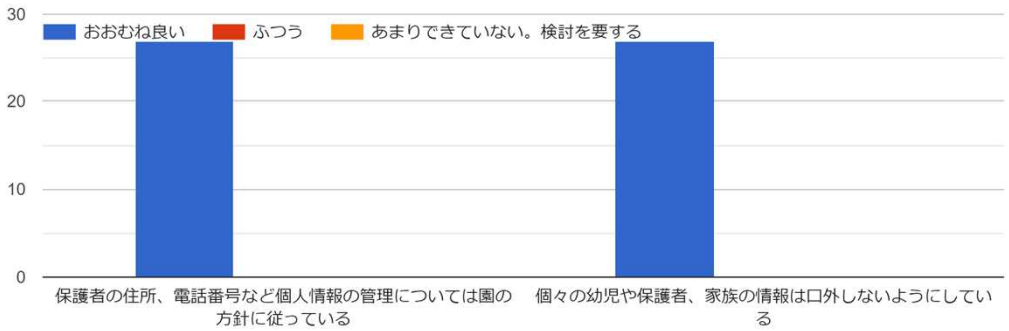
回答者に関して 回答者：27名

Ⅳ 保護者への対応

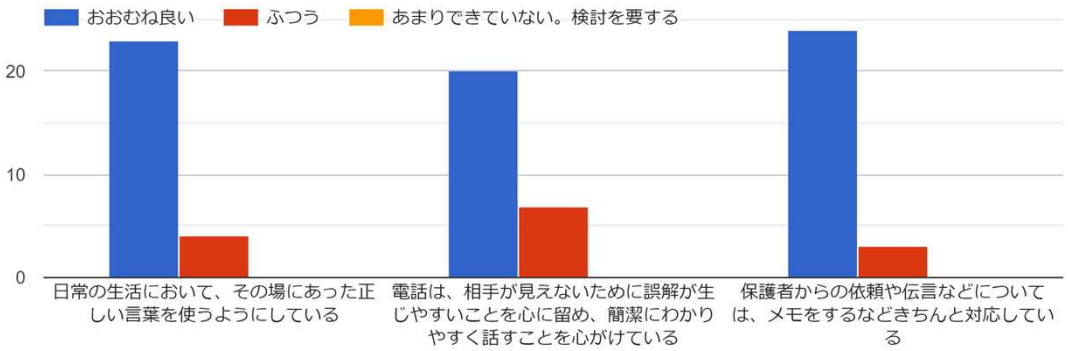
情報の発信と受信



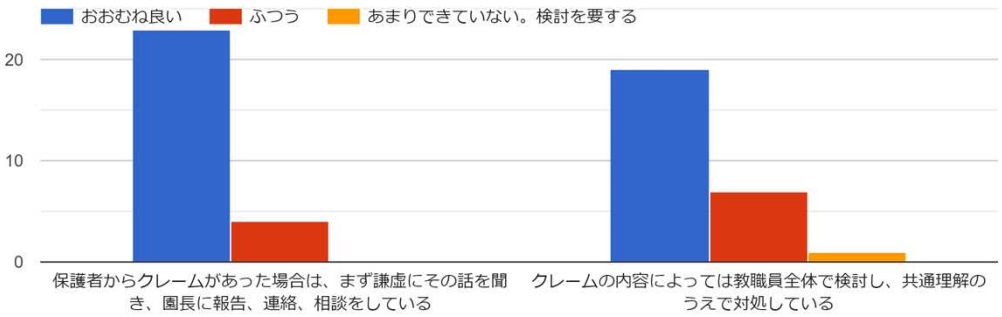
守秘義務の遵守



対応上のマナー・心がまえ



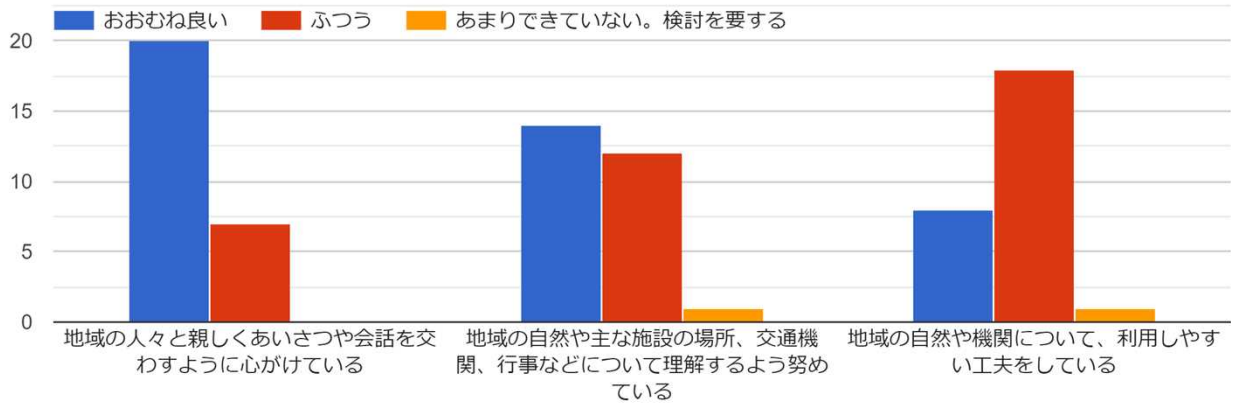
クレームへの対処の仕方



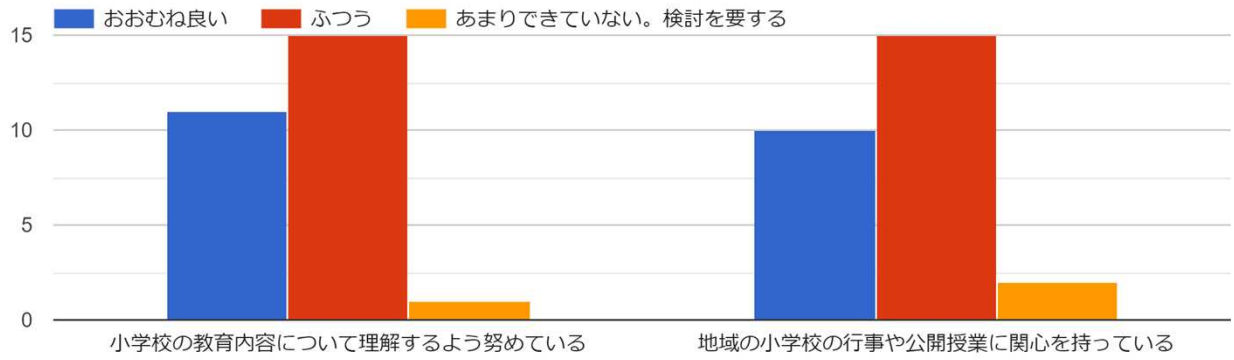
回答者に関して 回答者：27名

Ⅴ 地域の自然や社会とのかかわり

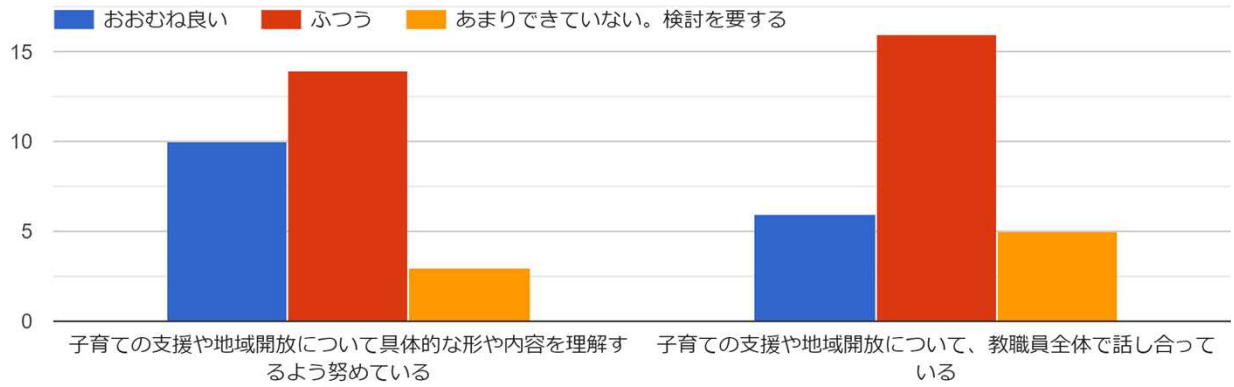
地域の自然・人々とのかかわり



小学校との連携



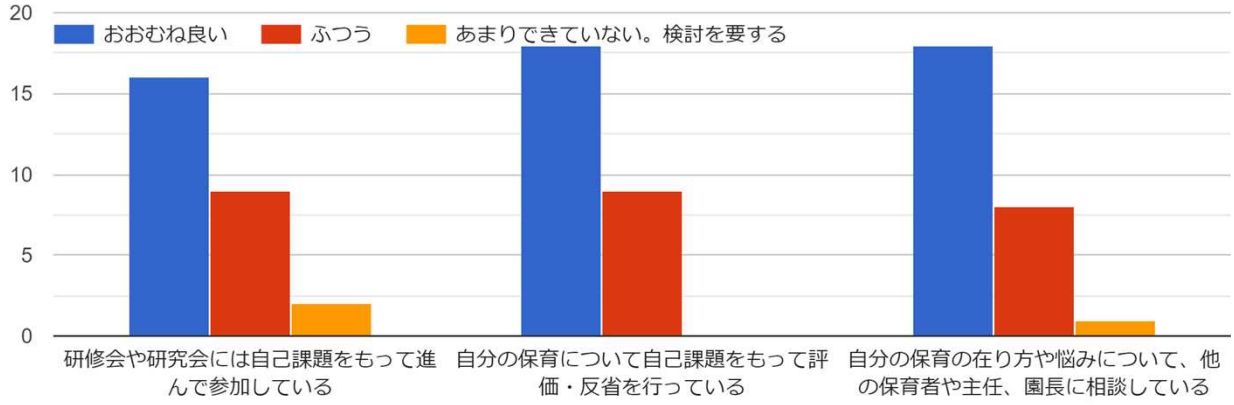
子育ての支援と地域への開放



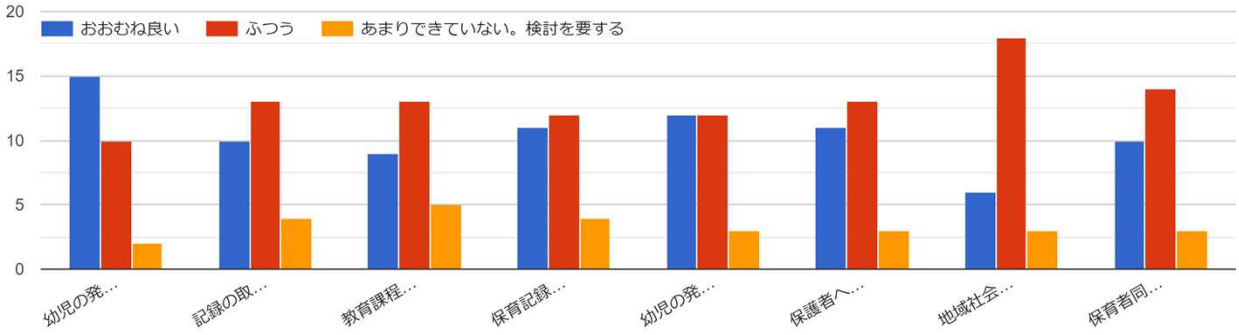
回答者に関して 回答者：27名

Ⅵ 研修と研究

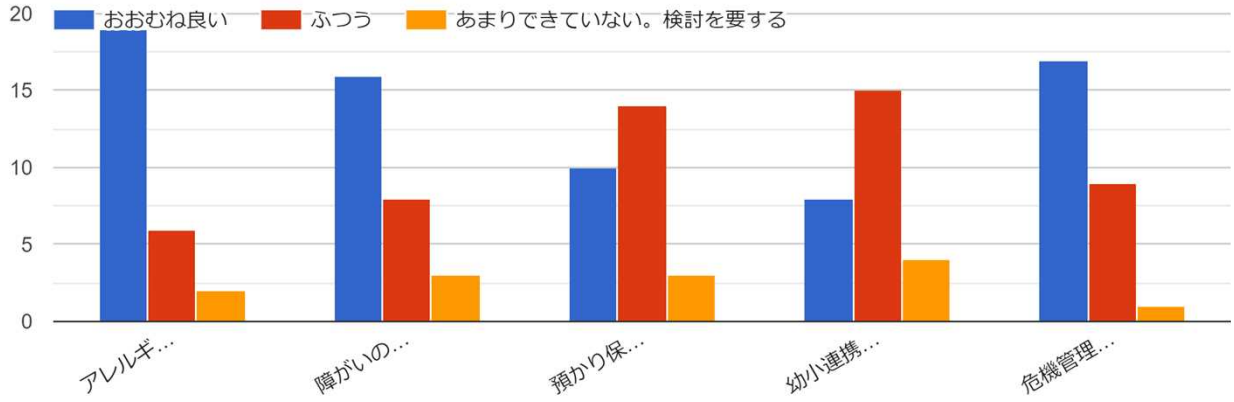
研修・研究への意欲・態度



保育者としての専門性に関する研修・研究



今日的課題に関する研修・研究



まとめ

・教育理念や教育目標について理解、共感していても、保護者に自信をもって説明できる職員が少ないのが気になった。これは、幼保連携型認定こども園になり、新しい職員が増え、全体の会議でお主代である教育理念について繰り返し伝えたり、研修する機会がなかったことが原因ではないかと考える。

・「教育要領を読んで、理解に努めている。」項目では、「あまりできていない」が複数いた。

今回のアンケートは、事務や給食関係者にも実施しているが、要領については、全ての職員が折に触れて理解に努めるべきであるので、職員会議などで、研修するなど努めていきたい。

・これ以外は、保育に関わらない職員は「ふつう」を選ぶことになっているため、上のようなグラフ結果となっている。

・全体的には、「おおむねよい」を選択する職員が多かった。

全体を通して

　4月から幼保連携型認定こども園に移行し、まず日々の保育をこなすのがやっとの状態が続いた。そのような中でも、先生たちは、子どもたちや保護者に対して献身的で真摯な態度で臨んでいたと感じる。特に、放課後の時間を使った保育の準備は、いつもじっくり時間をかけ、考え、より良い保育になるよう努力していたと思う。

　職員室では、朗らかな笑い声が聞かれ、「子どもたちがかわいい。」「こんなことができるようになって感動する。」と、子どもたちの話題が多く出されている。保護者のアンケートでも、たくさんの方が、「この園に通わせてよかった。」「子どもを大切に思ってくれている。」と感想を寄せてくださったが、それは日々の準備と先生たちの一致した気持ちの表れなのだと感じる。

　研修で今年度取り入れたベネッセの「ホイクテラスアカデミー」は、インターネットを使っていつでも視聴でき、内容も、マナー、特別支援、安全管理など多岐にわたっており、その中身も一講座の中が、5分程度の項目に細かく分かれていたため、先生たちも無理なく受講することができたようだ。基本的な内容が多いが、基本を大切にすることにより、日々の自分の姿が見えてくるのではないかと思う。

　来年度は新型コロナウィルスの感染予防のために、様々なことが制限されてきたが、来年度はこれとも、上手に付き合いながら、より良い保育を目指すべく、研修の方法も考えて行きたい。